

新潟中越地震被災地における ボランティア活動検証結果

災害ボランティア・市民活動支援
に関する検証プロジェクト
2006年6月30日

災害ボランティア・市民活動支援に関する 検証プロジェクト会議の設置と目的

- 同会議の目的
民間分野における災害時の支援体制(資金、モノ、コーディネーター、災害ボランティア活動センター)について、今後の災害発生の際に仕組みづくりとして残すための検討
- 被災地での連絡調整のための関係者派遣事業
- 災害VC、NPOへの調査を通じた検証事業(センターへのヒアリング、NPOへのヒアリング、全国から災害VCへの派遣コーディネーターへの書面調査等)
- 中越地震被災地復興に向けた助成事業
- 今後の災害時に、検証結果・提言のフォローアップ

2006/8/20

1

検証プロジェクトの成果

- .復興期のボランティア活動への資金提供を実施しました
- .新潟中越地震被災におけるボランティア活動の成果について検証しました
- .今後の災害時のボランティア活動のあり方を見直しました

2006/8/20

2

中越地震被災地復興に向けた助成事業

被災地復興のためのプロジェクト活動を対象 助成の際のポイント

- 被災地で暮らす人たちの潜在的な力を引き出し、高めていこうとしているか
- 被災地での新しい社会的事業・活動へと発展する可能性があるか
- 被災者をはじめ様々な人たちの参加と協力が得られているか

対象経費: 直接経費のほか人件費等間接経費も対象

2006/8/20

3

3つの調査から提案をまとめました

現地災害ボランティアセンター15ヶ所へのヒアリング調査

ボランティア団体・NPO15団体へのヒアリング調査

現地に派遣された社会福祉協議会職員429名のアンケート調査

2006/8/20

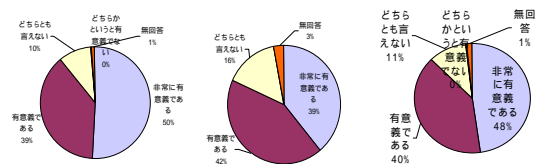
4

(例)派遣職員の80%以上は、災害VCの活動が有意義だと回答しました

(新潟県内) n=326

(新潟県外) n=103

(全体) n=429



2006/8/20

5

被災地におけるボランティア活動の有効性、可能性が示唆されました

きめ細やかな被災者対応が可能になる
被災地域の住民パワーが高まるよう応援できる
要援護者対応力を強化できる



被災地と全国の支援者のつながりを活かす
ボランティアセンターが15ヶ所に設置された

2006/8/20

6

とはいえ、ボランティアセンターは発展途上にあります

- 初動体制のノウハウが不足している
- 被災者主体になりきれず、個人ボランティアやNPOの力を活かしきれない
- ひと、もの、カネの循環を支えるしくみが未整備である

2006/8/20

7

災害ボランティア活動センターの 充実を図る必要があります

- 災害ボランティアセンターの重要性やよりよい運営のあり方について考え方をまとめ、情報の共有化を図る
- ひと、もの、カネ、情報の循環が変わり、被災地での助け合い活動がよりスムーズに進むよう、平常時からしくみづくりに取り組む

2006/8/20

8

今すぐできること

1. 人材の有効活用を促す
2. 必要な物資、資材がすばやく現地に届くしくみを作る
3. 資金の効果的な投入を促す
4. 緊急時情報センターの設置を検討する

2006/8/20

9

1. 人材の有効活用を促す

多くの人が活動しやすくなったが、コーディネート人材が不足し、被災者の不安を払拭できない



コーディネート人材の養成、専門性のある人材のバンクの形成、必要な人材を現地に派遣するしくみ他を構築する

2006/8/20

10

2. 必要な物資・資材が、必要とする 人・活用される現場に届くしくみをつくる

どの時期に、どのような物資・資材が必要かが明らかになり始めているが、あちこちから大量に送られる物資を仕分け、届けることが、混乱する現場の負担になっている



ボランティアセンター設置セット、避難所運営基本セット、特定資機材他について検討し、被災地に必要なものの調達をスムーズに行うしくみを構築する

2006/8/20

11

3. 資金の効果的な投入を促す

コーディネートの人材の人的費他の間接経費、
長期ボランティアへの支援経費 長期展望を
もって実施するプロジェクト経費などが不足し
ている

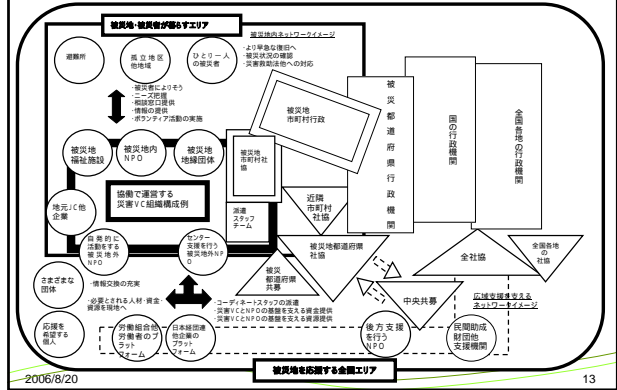


企業、NPO、社協、共募、日赤、助成財団等
による協議を重ね、新たな資金還流を構築する

2006/8/20

12

日常から協働で取り組みを始めることが望めます (災害ボランティアネットワーク図)



2006/8/20

13

検討会の皆様の日々の
とりくみがよりよいしくみを
生み出すことの検証にも
なっていると感じております。
ご清聴ありがとう
ございました。



2006/8/20

14